

第3回 NPO 活動交流センター運営委員会 議事録

[日付] 2006年12月9日(土) [時刻] 10:30~12:10 [場所] いわて県民情報交流センター5階ミーティングルーム

出席者

※敬称略、五十音順

| | |
|--------------|--|
| 委員 | 委員長 高橋 敏彦 (特定非営利活動法人いわて NPO-NET サポート) 委員 岩城 恭治 (夢ネット大船渡) 貴牛 利一 (特定非営利活動法人やませデザイン会議) 佐藤 英夫 (特定非営利活動法人奥州いわて・NPO ネット) 中村 一郎 (特定非営利活動法人いわて NPO フォーラム 21) 畠山 泰彦 (岩手県社会福祉協議会) 藤澤 義栄 (岩手国際理解教育研究会) 湯川 英俊 (特定非営利活動法人カンオペア連携地域づくりサポーターズ) |
| NPO 活動交流センター | センター長 高井 昭平 (特定非営利活動法人いわて NPO センター) 事務局 瀬川 園美 (特定非営利活動法人いわて NPO センター) |
| オブザーバー | 菅原 智明 (岩手県地域振興部NPO・国際課) |

開会

[NPO 活動交流センターセンター長 高井昭平 挨拶]

[NPO 活動交流センター運営委員会 委員長(議長) 高橋敏彦 挨拶]

議事

[第1議題] NPO 活動交流センター利用状況

(1) 相談件数

| | |
|-----|--|
| 報告 | NPO 法人設立にかかる申請、登記等の相談はセミナーなどで情報提供し対応している。そのため、そうした基本的事項の相談は減っている。反面、法人運営や経理等の内容の濃い相談が増えているため対応に時間がかかるようになってきた。また専門知識が必要な相談については、当法人顧問等から返答するなどの対応を行っている。 |
| 意見① | 相談件数の目標値は高すぎないか？達成できないのではないか。 |
| 返答① | 徐々に相談件数が伸びていることも踏まえ、本年度中の目標値見直しは行わない。 |
| 意見② | |

(2) データベース登録数

| | |
|----|---|
| 報告 | (いわて県民情報交流センター サーバーならびに指定管理者の技能の都合でデータベースのアップが出来ず(いたが)11月にデータベースを当法人内サーバーにアップし現在使用可能な状況である。11月よりデータベース登録対象団体を直接訪問し聞き取り調査を行っている。 |
| 議論 | データベース登録数と県民活動交流センター団体登録数とは別ではないか。カウント方法を変更すべきではないか。 |
| 結論 | 次回より ①データベース登録数 ②データベース情報更新数 ③県民活動交流センター団体登録数を別にカウントし報告する。 |

| | |
|-----|---|
| 質問① | 盛岡市内以外(遠隔地)での団体登録のメリットを教えてください。 |
| 返答① | データベース上に情報を掲載することができる。そのほか、メリットについて助言をいただきたい。 |
| 質問② | 団体登録の方法をもっと簡単にすることは出来ないか。 |
| 返答② | 団体の活動内容等確認のため、現在提出を求めている書類の提出は必要と考える。 |

(4) ホームページアクセス数

| | |
|----|--|
| 報告 | 4月からの平均アクセス数も目標値を超えており、目標達成は問題なく可能と思われる。但し、更なるアクセス数アップのためにはホームページの構成見直しが不可欠と考える。 |
|----|--|

(5) 講座等参加者数

| | |
|----|--|
| 報告 | 10,11月については目標値を達成することが出来た。また、各講座について内容の再検討を行い、対象を明確にし告知を行うことで、年間目標値の達成をする。 |
|----|--|

[第2議題] NPO 活動交流センター協働推進業務 進捗状況報告

(1)NPO 入門講座

| | |
|-----|--|
| 質問① | 他地域(いわて県民情報交流センター外)では行わないのか。 |
| 回答① | 市や振興局より依頼を受け、他地域でも行っているが報告対象となっていないため挙げていない。 |
| 質問② | 各中間支援 NPO 法人でも入門講座は行っているのだから「入門講座の開催方法講座」などを NPO 法人向けに行ってみてはどうか。 |
| 回答② | まずは、現在使用しているテキストを提供していくことを検討する。 |

(2)NPO スタッフ講座

| | |
|-----|---|
| 質問① | テーマは決まっているのか。 |
| 回答① | NPO 法人の日常の経理、総務等事務局体制を作るための講座を行う予定である。 |
| 質問② | NPO 法人スタッフはファシリテーター役を要望されることが多い。ファシリテーター養成講座を行ってはどうか。 |
| 回答② | すでに検討しており、2月を目処に開催予定である。 |
| 質問③ | 指定管理についても講座を行ってはどうか。需要は高いと思われる。 |
| 回答③ | 検討する。 |

(3)市民活動体験セミナー

| | |
|----|-------|
| 質問 | 質問なし。 |
|----|-------|

(4)いわて NPO ネットワーク連絡会

| | |
|----|-------|
| 質問 | 質問なし。 |
|----|-------|

(5)協働を推進する会

| | |
|----|-------|
| 質問 | 質問なし。 |
|----|-------|

(6)協働フォーラム

| | |
|-----|--|
| 意見① | (中村)引き続き来年も行ってもらいたい。また、協働フォーラムにこだわらず県民活動交流センター各センターと協働で事業を行うことも検討してほしい。 |
| 意見② | (畠山)事業として意図的にあげられていないと、協働での催事は難しい。ひきつづき、楽しいイベント等で協働を行ってみてはどうか。 |
| 意見③ | (高井)岩手県内中間支援 NPO 法人協働でのフォーラムも行いたい。 |
| 意見④ | (湯川)もう少し早めにフォーラムの全体像が分かればよかったと思う。 |
| 意見⑤ | (菅原)来年度は予算が無いが、この委員会での案をもとに NPO 活動交流センターが中心となって県民活動交流センター協働のフォーラムを行ってほしい。 来年度、どのような方向性で行うのか検討し、各センターとの調整をはかってほしい。 |
| 質問 | 県庁内担当課で、話し合うことはしないのか。NPO・国際課にて各センターの事業マッチングをしてはどうか。 |
| 回答 | (菅原)事業が見えないセンターもあるため、担当者間でのすり合わせが望ましい。 |

[第3議題] NPO 活動交流センターに対する助言及び評価

| | |
|-----|--|
| 助言① | 「支援」を行うセンターであるなら、単年度ごとの委託契約では本当の意味で支援を行うのは難しいのではないかと考える。 ボランティアや入門講座について学校への働きかけを行うのであれば、遅くとも前年度3月までには学校側への相談が必要と考える。 |
| 返答① | 単年度ごとの委託契約は、われわれも最も問題だと思っている事項の一つである。 来年度の再委託を見据え計画しておくことが、現在可能なことである。 |
| 助言② | メールニュースに中間支援の活動報告も掲載してはどうか。 |
| 返答② | 前向きに検討したい。 |
| 助言③ | 当委員会の議事録をホームページにアップしてほしい。また、次回委員会で、資料として添付してほしい。 |
| 返答③ | 了解した。 |

閉会

[NPO 活動交流センターセンター長 高井昭平]

今後、データベースの更新やホームページの充実等情報発信に力を入れ、NPO 活動交流センターを広く県民の皆様に利用していただけるよう努力していく所存である。

記録:瀬川 園美